

平成 24年 2月7日 (火)

国土交通省 関東地方整備局  
川崎国道事務所

—記者発表資料—

**国道246号新石川電線共同溝その他工事において「見積りを活用する積算方式」、「間接工事費実績変更方式」を試行します。**

都市部における工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調不落対策を試行しております。

今回発注する「国道246号新石川電線共同溝その他工事」については、交通量が多い市街地で行う工事であることから、標準的な積算と当該現場での見積り（実勢価格）に乖離が生じると考えられるため、以下の試行を行います。

**○「見積りを活用する積算方式」**

都市部、狭小な施工ヤードで行う工事であることから作業効率が低下することが懸念されるため、本工事の直接工事費について入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。見積りは全工種の直接工事費を対象とします。

**○「間接工事費実績変更方式」**

本工事は、交通量及び人口が多い横浜市内の国道246号で現道上を交通規制をしながらの電線共同溝工事であり、関係機関等の協議などの要因により、施工日数、施工時間帯など標準的な積算と施工実績に乖離が生じると予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）について変更する「間接工事費実績変更方式」を採用します。

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ 川崎記者クラブ

**問い合わせ先**

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 課長補佐

あらい ただし

新井 正

（電話048-600-1331）

技術調査課 建設専門官

いしはま やすまさ

石浜 康賢

（電話048-600-1332）

間接工事費実績変更方式  
について

川崎国道事務所 電話 044-888-6411 (代)

副所長 菅野 和典 (内線204)

工務課長 市川 明広 (内線411)

対象工事の内容について

## 《工事概要》

- (1) 工 事 名 : 国道246号新石川電線共同溝その他工事
- (2) 工事場所 : 自: 神奈川県横浜市青葉区新石川4丁目  
至: 神奈川県青葉区荏田町地先
- (3) 工 期 : 契約の翌日から平成24年9月30日まで
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式 (標準Ⅱ型 施工体制確認型 地域密着型)
- (5) 工事種別 : アスファルト舗装工事 (B等級)
- (6) 工事内容 (概要) : 本工事は、国道246号の新石川立体事業において、舗装及び電線共同溝の施工を実施するものである。

電線共同溝工事	1式
電線共同溝工	
管路部	約226m
特殊部	4箇所
舗装工	
舗装復旧 (歩道)	約280m <sup>2</sup>
舗装復旧 (支道)	約13m <sup>2</sup>
舗装復旧 (車道)	約3m <sup>2</sup>
歩道舗装	約800m <sup>2</sup>
仮設工	1式
軽量鋼矢板	1式
排水構造物工	1式
街渠工	1式

- (7) 見積りを活用する積算方式  
全工種の直接工事費

- (8) 間接工事費実績変更方式  
共通仮設費 (率分) のうち、安全費及び営繕費

- (9) 見積りの提出を求める理由、及び間接工事費を実績により変更を行う理由

本工事は、交通量及び人口が多い横浜市内の国道246号で現道上を交通規制をしながらの電線共同溝工事であり、狭小な施工ヤードによる作業効率の低下や関係機関等の協議などの要因により直接工事費や共通仮設費 (率分) について標準的な積算と当該現場での見積り (実勢価格) に乖離が生じると予想されることから「見積りを活用する積算方式」及び「間接工事費実績変更方式」を採用します。

- (10) スケジュール

○入札公告: 平成24年2月7日  
○入 札 日: 平成24年3月23日